

二〇二〇年、コロナ禍で
出会った二人は…

ていどくる合同会社
代表 タイラ
執行役員 イマダ



離島配送のプロ
*当時はまだ会社設立していない
↑休業になってしまった人

離島の買い物
いつも以上に
大変になっていると
体感していた



石垣に買い物
に来るの大変
さね

誰か
代わりに買
物してくれ
かね？

それなら
僕が…



僕らなら、
離島の買い物状況を今よりも
良くできるはずだ！

「ゆいまーる便」を作ろう！

そのためにもていどくる合同会社を設立だ！

買い物手数料は
買い物代金の10%!
(法人は15%)

※15,000円以下の注文は一律1,500円の手数料がかかります。

説明しよう！
ゆいまーる便とは、離島の人が石垣に買い物に来なくても、家から石垣の主要スーパー五店舗の商品約二百品目を比較的安価に購入できる、新しい形の買い物代行サービスのことである！
ちなみに購入品は港に届くけれど、将来的にはお家まで届けられるようなシステムも考えているよ！

↑2021年
3月8日にていどくる
合同会社が誕生
しました!!



この人は
社員の
サカ
です。

クラウドファンディングは
CAMPFIRE
で行っています！



ていどくる
各種SNS
QRコードは
裏面に
掲載してます
↓ ↓ ↓



これから車や設備、店舗を整えてゆきます！
クラウドファンディング
は五月二十三日まで。
八重山を愛する皆様のご協力をぜひ
よろしくお願いします！



普通の買い物代行なら
僕らがやる意味が無い！
★特売・お得情報も伝える！
★食品は地産地消を目指す！
★代理店制度で雇用も創出だ！



タイラ 実はいの有名な
「ミ-バス岩」の発見者

イマダ
いでも熱語漢

メディア掲載情報

コロナ下、離島苦解消へ

ゆいまー便 住民の買い物支援でCF



コロナで石垣島の買い物に苦労する離島住民のため「ゆいまー便」が間もなく本格始動する。立ち上げには、だく／合同社の平良匡さんと今田敦之さん、市内大手量販店の離島配送部門に任事する人は「コロナに感染したら島に帰れない」「緊急事態宣言中でも買い物は必要」「船内で観光客の隣に座るのが怖い」など、顧客からの切実な声に答えようと今年月に起きた。離島住民が石垣島で買い物をする際は、船で港まで訪れ、そこからタクシーやレンタカー、バイク

記者席

15日に開講した教員採用試験直前対策講座。開講式で黒島一哉校長は沖縄県の試験の難しさを紹介。昨年度の高校体育で167人が受験し合格者はわずか1人だったことを挙げ「簡単なものじゃない。でも死に物狂いになれば絶対に結果は出る。一生懸命やった人間が頑張る。挑戦することの素晴らしさを子どもたちに伝えて欲しい」。難関試験突破に向け受講生の気持ちを奮い立たせた。

石垣市内で新たに7人の新型コロナウイルス感染者が確認された。このうち5人が60代で、いずれも確定例の濃厚接触者。クラスターが発生した会食

目指せ難関突破!

のなま離島支援プロジェクトをみんなが実現した」との思いでクラウドファンディング（CF）で支援を呼び掛けている。URLは <https://camp-fire.jp/products/view/410500>

寄付の返礼品は、地元産のハイカラファンディング、コインランドリー、ホテルや商業施設での

記者席

15日に開講した試験直前対策講座。黒島一哉校長は沖縄県の試験の難しさを紹介。昨年度で167人が受験し、わずか1人だったこと、簡単なものじゃない。でも死に物狂いになれば絶対に結果は出る。一生懸命やった人間が頑張る。挑戦することの素晴らしさを子どもたちに伝えて欲しい。難関試験突破に向け受講生の気持ちを奮い立たせた。

石垣市内で新型コロナウイルス感染者が確認された。このうち5人が60代で、いずれも確定例の濃厚接触者。クラスターが発生した会食

←こちら（下段最後）にも！
ありがとうございます。

第3種郵便物認可
王亮 王求 奈斤

石垣—離島買い物代行

「ていどくる」社事業資金募る

大型店で購入、船で運送

【石垣】竹富島や西表島などの離島住民のため、買い物を代行するサービスの提供を目指し3月、石垣市で会社が誕生した。業務内容は、離島住民が求める品を市内の大型店を巡り安く買い求め、船で離島まで送り届けるサービス。同社は本格的な業務開始を目指し、5月23日までクラウドファンディングで資金を集めており、6月1日からの本格始動を目指している。

資金を募っているのは「ていどくる合同会社」。同社代表社員で、自身も西表島の生活経験もある平良匡さん36によると、大型スーパーがない離島住民は日常の買い物に「苦労」という。

船に乗り石垣島まで行き、生鮮食品や日用雑貨を買い込み、また船に乗って島に戻る。1回で大量に買い物をするため、石垣での移動にはレンタカーを借りる人もいる。

島から出るための交通費、石垣での移動費、買った商品を運ぶための運送費もかかる。金銭的な負担に加え時間も使う。市内の量販店で配送担当としても働く平良さんは、離島住民が

離島住民の買い物を代行するサービスを始める「ていどくる」の平良匡代表社員（左）と執行役員の中田敦之さん（右）が石垣市内平良代表社員（左）

苦勞して買い物をする様子を見つけてきた。

さらに医療体制がせいりな離島では、新型コロナウイルス感染症の不安もつきまとう。「自分が感染したら島に帰れない」「観光客と（船で）隣に座るのが怖い」。いずれも平良さんから寄せられた離島住民からの声だ。

手数料は1万5千円までの買い物は1500円で、1万5千円を超えると買い物代金の10%となる。民宿など法人も利用でき、その場合は15%の料金となる。

別途、貨物船の代金が必要だが、住民が離島から出るための交通費や時間は抑えられる。

同社は23日から暫定的に法人向けにサービスを開始したが、現在は平良さん個人の車を出すなどして対応する。今後は大量の荷物を運ぶための車や、生鮮食品を保管する冷蔵庫などが必要となるため、ネットで寄付を募るクラウドファンディングで200万円を目標額に資金を集めている。専用サイト「CAMPERE」で、社名を検索することで参加できる。

平良さんは、新型コロナウイルスから島の安全を守り、住民の暮らしを良くしたいと思っている。この活動を通じて離島の生活を多くの人に「知ってほしい」と話している。

【会社HP】



ていどくる
公式
アカウント